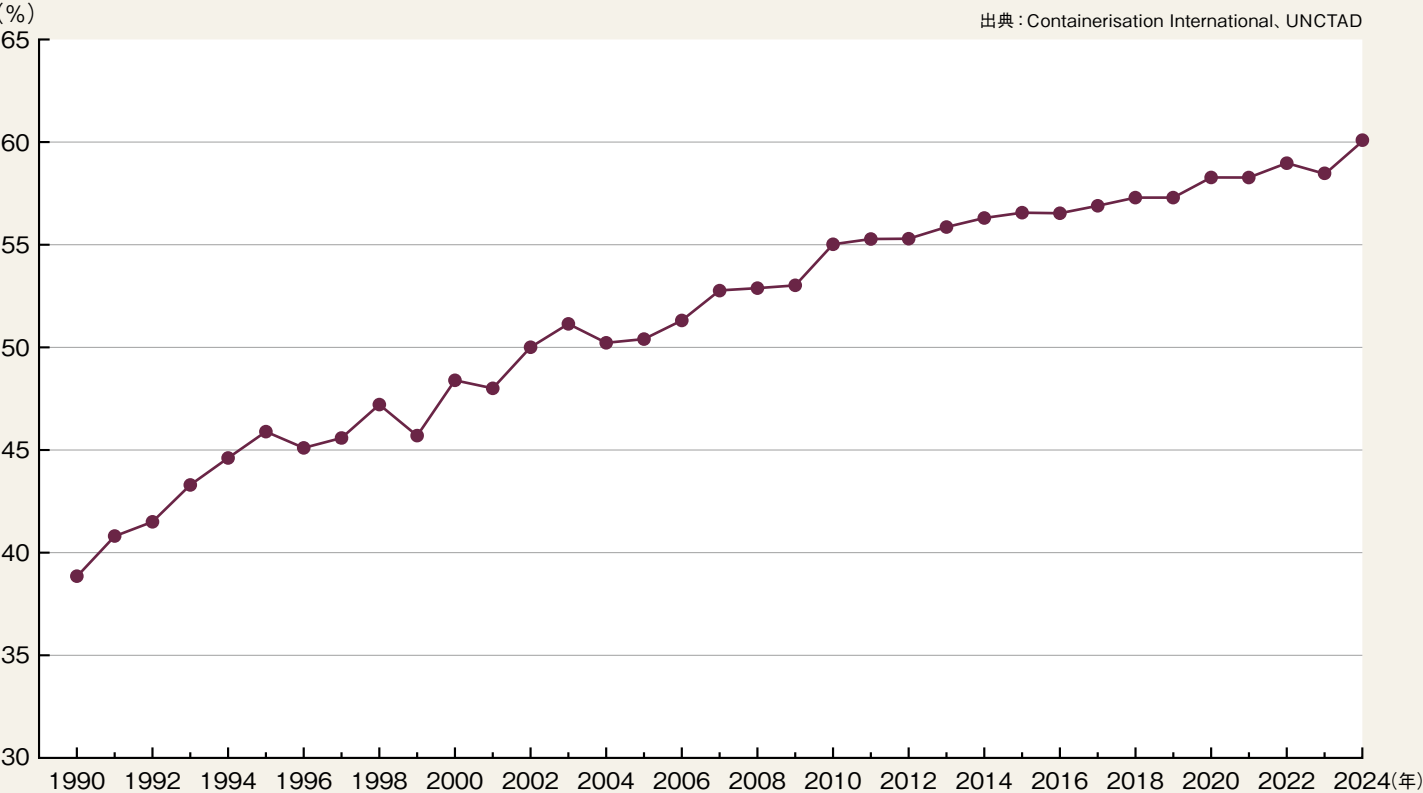


1 アジア各国の世界に占めるコンテナ取扱量のシェア

中国の「世界の工場」化とアジア域内分業の進展を背景に、アジアのシェアは1990年の4割弱からほぼ一貫して上昇し、2024年には60.1%に達した。この拡大が上位港のアジア集中の背景である。一方で拡大を牽引したのは中国を中心とする国々であり、同じアジアでもわが国港湾の地位は低下している。



(注) ①中国、シンガポール、香港、日本、韓国、マレーシア、台湾、インド、インドネシア、タイ、ベトナム、フィリピン、スリランカ、パキスタン、バングラディシュ、ミャンマー、カンボジアのデータ。
②取扱量は推定値。

2 コンテナ取扱量の上位を占めるアジアの港湾

上位10港の顔ぶれと序列は近年ほぼ固定しており、上海は2016年以降一貫して首位、2位シンガポール以下も中国の港湾が中心の構図が続く。アジア9港・中国6港という構成が続いていることは、アジアのシェア拡大が一過性ではなく、世界のコンテナ輸送の構造変化として定着したことを示す。

出典：Lloyd's List One Hundred Ports 2025、Containerisation International

港 名(国名)	取扱量の順位									2024年の 取扱量 (千TEU)
	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
上海(中国)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	51,506
シンガポール(シンガポール)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	41,124
寧波(中国)	4	4	3	3	3	3	3	3	3	39,308
深圳(中国)	3	3	4	4	4	4	4	4	4	33,380
青島(中国)	8	8	8	7	6	6	5	5	5	30,870
広州(中国)	7	7	5	5	5	5	6	6	6	26,070
釜山(韓国)	5	6	6	6	7	7	7	7	7	24,402
天津(中国)	10	10	9	9	8	8	8	8	8	23,290
ドバイ(アラブ首長国連邦)	9	9	10	11	11	11	11	9	9	15,536
ポートクラン(マレーシア)	12	11	12	12	12	12	12	11	10	14,645